

健康診断に関わる取り組み

特定保健指導(健康サポートプログラム)

2016年度から、事業主とローソン健康保険組合のコラボヘルスとして取り組みを強化してきました。

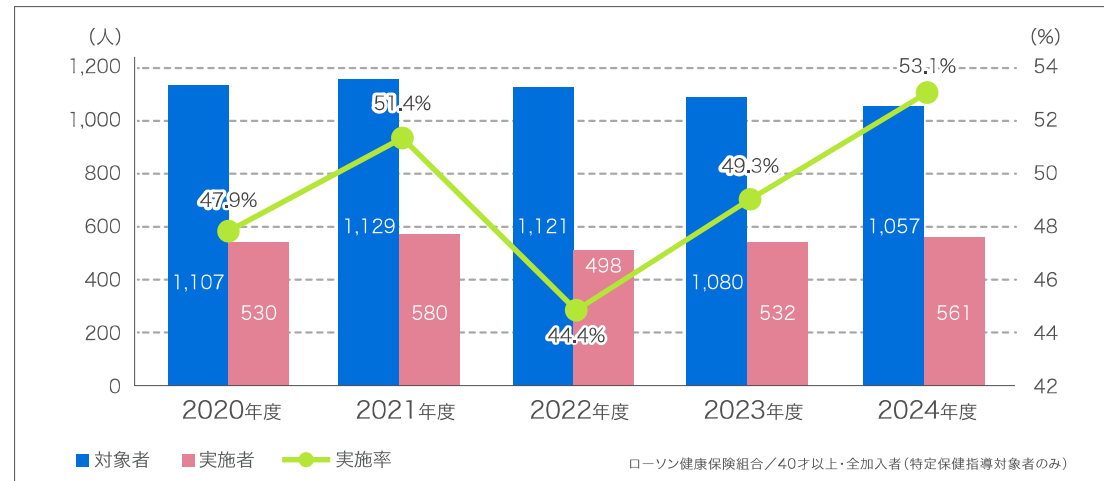
2024年度の実施率は53.1%となりました。

【内訳】 561人/1,057人(被保険者:555人/1,021人 配偶者:6人/36人)

ローソングループでは、事業主から対象者に対し個別勧奨を徹底することにより、実施率の改善が進んでおります。実施率が高まり、プログラム参加者が増える一方で、単年でプログラムを卒業できない人も増えており、指導内容に対するマンネリ感も出てきている状況です。

そこで、2025年度は、指導会社を1社から3社に増やし、指導内容のアソートを広げることで、対象者が自らの希望に沿った指導プログラムを選べるようにします。対象者がより前向きに、より積極的に自らの健康づくりを行えるような仕組み作りを行ってまいります。

■特定保健指導 経年実績



糖尿病対策アクション(糖尿病重症化予防プログラム)

2021年度から、「血糖コントロールプログラム」を開始しました。血糖変動を可視化することで、セルフラーニングによる数値改善を目的としたプログラムを導入しています。

右図の通り、参加者のHbA1cの平均値が7.6%から、翌年6.6%まで大幅に下がりました。参加者の多くが緩やかに改善している中、大幅に改善した方もおり、当プログラムが行動改善につながったと考えられます。

2024年度は、対象者を未治療者に限定せずに、治療中であっても値が高い方に対してもプログラムの参加を呼びかけました。「点」ではなく「線」での値変化を確認いただき、治療と併せて生活習慣を見直せるように働きかけてまいります。

■参加者のHbA1c平均値変化

